

労働者福祉 みやざき

2023

No.574

みやざきの勤労者の
福祉向上を目指す広報誌

一般社団法人
宮崎県労働者福祉団体中央会

2023

中央会

新年のあいさつ



一般社団法人
宮崎県労働者福祉団体中央会
会長

吉岡 英明



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、労働者自主福祉運動に対して、ご支援、ご協力をいただいていること心から敬意と、感謝を申し上げます。

さて、「一社」宮崎県労働者福祉団体中央会は、県下の労働団体、労働者福祉事業団体のご協力をいただきながら1963年に設立され、今年で60周年を迎えます。

これまで、中央会に集う仲間と共に、働く者同士の相互扶助と自主独立の精神のもと、すべての働く人たちの幸福を求めるために自主福祉運動を進めてまいりました。

しかし、今の日本社会は、政府・財界を中心に押し進められた新自由主義の政策によって貧困・格差・分断の病巣を抱えた「生きづら社会」に変貌させられたと言っても過言ではありません。特に新型コロナウイルス感染症によって、人権侵害や社会的弱者に大きな経済的な危機を引き起こし、様々な社会機能の脆弱性が顕在化したことは周知の事実と思います。

本来なら、社会機能の脆弱性が顕在化した今、国は「公助」の力を発揮し、安心して暮らせる社会の基盤を作る責任があると思っております。

それにも拘わらず、岸田政権は、今必要な国民の生活を守るための社会保障制度については、議論を棚上げし、昨年12月16日に閣議決定した安全保障関連3文書（国家安全保障戦略）「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」において、「敵基地攻撃能力の保有や」「防衛費のGDP2%、5年で総額43兆円を確保すること」を明記するなど、国民に十分な説明も、国会での議論もないまま軍拡路線を推し進めています。このことは、到底許されるものではありません。

私たち中央会は、このような社会情勢のなか、「福祉はひとつ」の理念のもとで、人と人との繋がりで支えられ、誰ひとり取り残さない「福祉型社会」を創造していくために、積極的に取り組んでいかなければならぬと、改めて決意しているところです。

今年一年、宮崎県労働者福祉団体中央会に対して、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いし、年頭のあいさつとさせていただきます。実りある1年となるよう頑張ります。

2023年 元旦



(学)みやざき福祉学園
(福)みやざき福祉園
理事長

小川 順平

もあり、今後も厳しい状況が続くことが予想されますが、教職員一丸となって、子ども達が明るく、楽しい園生活を送れるよう頑張ります。



公益財団法人
宮崎霊園事業団
理事長

野地 一行

の中で誕生し、今も公益財団法人として立地も景観も抜群です。墓地公園として立地も景観も抜群です。是非一度、見学においで下さい。



こくみん共済coop宮崎推進本部
本部長
宮崎県勤労者旅行会 理事長

中原 和雄

本年も「たすけあいの輪」を広げるべく、組合員・協力団体の皆さまに寄り添い、真摯に取り組んでまいります。



九州労働金庫宮崎県本部
本部長

鬼束 善史

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。



日本労働組合総連合会
宮崎県連合会(連合宮崎)
会長

中川 育江

新生活闘争、第20回統一地方選挙、組織拡大に全力を尽くします。連合宮崎への更なる参画・参加を何卒よろしくお願い申し上げます。

新年おめでとうございます

「ゆく川のながれはたえずして しかももとの水にあらず」

「無常」の世にあつて、私たちは自然の力に翻弄される小さな生き物に過ぎません。この世に生きた証をどのように残すのか、「終活」や先祖の供養の仕方など考えておきたいものです。労働者自主福祉運動などを通じて守り続けている「宮崎霊園」は、私たちの財産です。是非一度、見学においで下さい。

あけましておめでとうございます。

日頃から福祉学園並びに福祉園に對しまして、ご支援ご協力をいただいていることに感謝申し上げます。

昨年、一昨年と「コロナ」感染の影響で、入園式、卒園式、運動会など、様々な行事を縮小、または中止せざるを得ず、子ども達や保護者の皆様に寂しい思いを強いた年でした。また、新たな変異株の出現

新年あけましておめでとうございます。

みなさまにとりまして、健康で多幸の一年となりますよう心からご祈念いたします。

常日頃より連合宮崎に對しまして、あたたかなご理解・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

コロナ禍の中、みなさまのご尽力に深く敬意を表します。本年もみなさまとともに宮崎で働き暮らして本当にいいな。と実感できるように、2023春

なる参画・参加を何卒よろしくお願い申し上げます。

みな様におかれましては、おだやかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年中は、九州労働金庫をご利用いただき、誠にありがとうございました。

コロナ禍や物価高など私どもの生活を巡る状況は、厳しさを増しており、このような時こそ、労働者自主福祉運動の力を発揮しなければなりません。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

「ろうきん」は、中央会・各自治体と連携した「提携教育ローン」をはじめ、勤労者のみな様の生活に資する様々な取り組みを、本年も引き続き展開してまいります。

新年を迎えて



宮崎県知事

河野 俊嗣

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

皆様には、日頃から労働行政はもとより、県政の推進につきまして温かい御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

中央会におかれましては、長きにわたり労働者福祉団体の指導等を通じて労働者福祉の増進に大きく貢献いただいております。心から敬意を表する次第です。

長引くコロナ禍や原油価格・物価高騰に加え、昨年9月の台風第14号で甚大な被害が発生し、本県は「百年に一度」と言うべき難局に直面しております。

このため、台風災害からの早期復旧はもとより、感染拡大防止のため医療提供体制の確保やワクチン接種を進めるとともに、生活に困窮されている方々や、飲食・観光・宿泊業の皆様に対する支援など、きめ細かな施策を機動的かつ継続的に実施し、全力で宮崎の再生に取り組んでまいります。

また、「WBC侍ジャパン合宿」「G7宮崎農業大臣会合」「宮崎県人会世界大会」等の開催を好機と捉え、本県の多彩な魅力を国内外に発信し、観光振興や輸出促進など、世界の活力を取り込むグローバル戦略の展開を通じて経済成長につなげてまいります。

さらに、これまで数々のトップアスリートの合宿等を受け入れる中で培ってきたノウハウに加え、屋外型トレーニングセンターや国スポ・障害スポーツ関連施設を整備・活用し、「スポーツランドみやざき」の更なる飛躍を目指します。

今後とも、県民の皆様の声に真摯に耳を傾け、安心と希望あふれる宮崎県づくりに全力で取り組んでまいりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が、貴会及び会員の皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。年頭の御挨拶いたします。

2023年 年頭挨拶



労働者福祉中央協議会

会長 芳野 友子

新年明けましておめでとうございます。

2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大による経済・社会・国民生活への影響は現在も続いています。日本のセーフティネットの脆弱性が露呈する中、公的支援が行われているものの、長引くコロナ禍においては、一時的な支援から、継続した支援への強化が必要です。中央労福協も「ろうふうエル基金」を継続し、生活に困難を抱えている人たちの支援などに役立てています。これまで寄付をいただいた皆様へ改めて感謝申し上げます。

さて、世界に目を向けると、ロシアのウクライナ侵攻による平和問題や、物価上昇、気候危機など、先行き不透明な状況に置かれています。平和や地球環境について、一人ひとりが意識を変え何ができるかを考え、小さなことでも行動に移していくことが必要です。「誰ひとり取り残さない」包摂的で持続可能な社会を実現するために、取り組みを進めていきたいと思います。

中央労福協は現在、「第3期奨学金制度改善・学費負担軽減」運動に取り組んでいます。給付型奨学金の中間層への拡大と、返済困難者への支援が喫緊の課題です。政府は授業料を後払いにする「出世払い方式」の検討を進めていますが、極めて収入額が低い場合でも返済を開始させるような制度設計となっています。奨学金制度のさらなる改善にむけて、給付型奨学金創設を実現したときのように、みんなで大きなうねりを作り上げ取り組んでいくことが必要です。引き続きのご協力をお願いいたします。

私たちは今、目まぐるしく状況が変化する社会の中で、様々な課題への対応に迫られています。これまでの運動で培ってきた経験や、助け合い、支えあいの精神を糧に、時代に即した運動スタイルを取り入れてポストコロナ社会を見据えた運動に取り組んでいかなければなりません。「2030年ビジョン」の実現にむけて、労福協、労働団体、福祉事業団体がこれまで以上に連携を深め、一丸となって取り組みを進めていきたいと思います。

2023年 労働者福祉事業団体等仕事始め式を開催!!

（一社）宮崎県労働者福祉団体中央会は、2023年1月4日（水）、九州労働金庫宮崎県本部会議室において、「2023年労働者福祉事業団体等仕事始め式」を開催しました。

今年も、コロナウイルス感染拡大防止のため、各団体からの参加者については人数を絞っての開催となりました。

鬼束副会長（九州労働金庫宮崎県本部）の開会挨拶のあと、吉岡会長より、「中央会は1963年に設立され2023年で60周年を迎えることになる。これまで中央会に集う仲間とともに働く者同士の総合扶助と



中央会吉岡会長



開会挨拶（鬼束副会長）

のために働く人々のために自主福祉運動を進めてきた。しかし今の日本社会は貧困・格差・分断の様子を抱えた本当に生きづらい社会になっている。特に新型コロナウイルス感染症によって、人権侵害や社会的弱者に大きな経済的な危機を引き起こしている。本来

であれば、社会機能の脆弱性が顕在化した今、国は公助の力を發揮して安心して暮らせる社会の基盤を作る責任がある。国民の生活を守るための社会保障制度などを棚上げにし、昨年12月には、閣議決定した安全保障関連3文書、『国家安全保障戦略』、『国家防衛戦略』、『防衛力整備計画』等による43兆円の国家予算を確保することを明記するなど、国民に十分な説明も国会での議論もないまま軍拡路線を推し進めている。コロナ禍・円安・物価高で国民が苦しんでいるところに目が向けられていない状況がある。私たち中央会は、このような社会情勢



閉会挨拶（中原副会長）



連合宮崎中川会長

の中、「福祉は一つ、「万人は人のために、一人は万人のために」の理念のもとで、人と人とのつながりで支え合える、誰一人取り残さない福祉型社会の創造を積極的に取り組んでいかなければならない。中央会を構成する九州労働金庫、こくみん共済coop、連合宮崎、みやざき福祉学園・福祉園、霊園事業団、勤労者旅行会に携わるみなさんと一緒になって力をあわせて頑張っていきたいと思います。」と挨拶を行いました。

続いて、来賓の連合宮崎中川会長からは「2023年春季生活闘争は、暮らしを守り未来を創る／をスローガンに掲げ全力で闘つ、「組合づくりにより労働組合の存在感を示していく」として「2023年の選挙のスタートは第20回総地方一選挙となっている。労働組合は、働きやすい職場を創る、暮らしやすい社会、働くことを軸とする安心社会の実現に向けて取り組んでいく。働く者の声を政治の場に届けるために各自治体選挙に推薦した候補者の当選を勝ち取り、私たちが政治を変える、未来を変える」とする力強い挨拶を受けました。

最後に中原副会長（こくみん共済coop宮崎推進本部）の開会挨拶、一丁締めで終了しました。



仕事始め式の様子

カーライフローン 教育ローン キャンペーン

変動金利型

1.8% 年

保証料はろうきんが負担します!

変動金利型

1.8% 年

保証料はろうきんが負担します!

お借入条件	カーライフローン	Web完結型 カーライフローン
ご融資金額 （1万円単位）	1,000万円以内	500万円以内
ご融資期間	10年以内	10年以内

キャンペーン期間 2023年4月30日(日)まで
※カーライフローンキャンペーンは2023年1月4日(水)からとなります。

お借入条件	教育ローン	新ローン(カー・教育)	Web完結型 教育ローン
ご融資金額 （1万円単位）	2,000万円以内 （10万円単位）	2,000万円以内 （10万円単位）	500万円以内 （1万円単位）
ご融資期間	変動金利 20年以内 固定金利 15年以内 （償還期間含む）	変動金利 20年以内 固定金利 15年以内 （償還期間含む）	変動金利 20年以内 固定金利 15年以内 （償還期間含む）

◎キャンペーン金利は（一社）日本労働者信用基金協会保証によるお申込み、かつ2023年4月30日までに受付し、2023年5月31日までにお借入（ご契約）した場合、適用となります。その他の保証会社でのお申込みはキャンペーン金利が適用されませんのでご注意ください。キャンペーン金利以外の借入条件（金利等）は、九州ろうきんホームページまたは店頭でご確認ください。◎キャンペーン期間中に表示金利が変更される場合もございます。◎ご融資金額は所属される会員等により異なる場合がございます。◎変動金利型は、年2回適用金利を見直します。ただし、「教育ローン（カード型）」については、カードローンご利用期間中は年4回、元利金ご返済期間中は年2回適用金利を見直します。◎お借入後に返済方法（返済額・返済期間など）を変更される場合には、手数料（税込5,500円）がかかります。変更内容によっては、ご希望に添えない場合もございます。◎お借入予定資金に九州ろうきんで現在ご利用中のローンの借換が含まれる場合は条件がございます。なお、Web完結型ローンは、借換資金にご利用いただけません。◎Web完結型ローンは、所属される労働組合・共済会・互助会等との取り決めにより、お申込みを受付できない場合がございます。◎ご返済額の試算はお気軽に（ろうきん）まで、パソコンやスマートフォンから九州ろうきんホームページの「ローンシミュレーション」もご利用いただけます。◎記載内容は、2023年1月4日現在の内容で、保証先を（一社）日本労働者信用基金協会とする場合です。◎金利引下には、カードローンのご契約等、取引条件がございます。◎くわしくは、九州ろうきんホームページまたは店頭の商品概要説明書でご確認ください。◎融資には審査がございます。審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

はたらく人と、地域社会と、未来へ、「つながる!」九州ろうきん。

九州ろうきんは、労働金庫法に基づき設立された勤労者のための福祉金融機関です。

- ローンセンター宮崎 (0985) 26-9207 ●延岡支店【融資部門】 (0982) 35-6657
- 日南支店 (0987) 23-3191 ●宮崎県庁支店 (0985) 29-4141 ●都城支店【融資部門】 (0986) 23-2257
- 小林支店 (0984) 23-1000 ●高鍋支店 (0983) 23-0740 ●日向支店 (0982) 52-6131
- 西都支店 (0983) 43-1212 ●高千穂支店 (0982) 72-6111 ●宮崎市役所出張所 (0985) 26-3906

お問い合わせ先 九州ろうきん お客さまサービス室

専用フリーダイヤル

0120-796-210

受付時間/平日 9:00~17:00

2022
年度

宮崎県への

要請行動



宮崎県に対しては、2022年11月15日（火）、吉岡会長以下中央会三役と立憲民主党・岩切達哉県議会議員、国民民主党・田口雄二県議会議員とともに、宮崎県河野知事へ要請を行いました。

今年度の要請時のポイントとして、2015年の国連サミットで合意されたSDGs（世界共通の持続可能な開発目標）の重要項目である「貧困の根絶・格差の是正」の取り組みの強化、協同組合支援の強化、災害対策・被災者への生活支援や啓発活動の強化、平時における防災・減災の対策強化、教



河野知事へ要請書を手交する吉岡会長



要請趣旨を説明する假野専務

育の機会均等の強化（奨学金制度の拡充・改善・教育費の負担軽減）、生活保護制度の強化、ティーンメントワークの確立、安心の医療・介護体制の整備、中小企業勤労者の福祉向上、消費者行政の充実等について要請しました。

コロナ禍でますます貧困の連鎖が固定化し、さらに格差の拡大や社会の分断化が急速に進んでいる中で、働く人々の雇用や暮らしを向上させることが、持続可能な地域社会を創造することに繋がっています。自治体への要請行動を契機として、支える人々を支える行政としての施策の充実・拡充を引き続き求め、協同組合経済の拡大を目指す労働者福祉運動を今後も継続して推進していきます。

各市の手交式の様子



清宮宮崎市長



読谷山延岡市長



高橋日南市長



池田都城市長

1. SDGs（持続可能な開発目標）の達成と協同組合の促進・支援
2. 大規模災害等の被災者支援と復興・再生及び防災・減災対策の強化
3. 格差の是正、貧困のない社会に向けたセーフティネットの強化
4. ティーンメントワークの確立
5. 安心・信頼できる社会保障の充実
6. 安心の医療・介護体制の整備

「2022年度」県内各市への要請行動

特に、コロナ禍の中で、格差と貧困の拡大が進み社会問題化している状況から、SDGsの最重要項目である「貧困の根絶・格差の是正」に向けた取り組みの強化や、協同労働の協同組合の育成・支援を充実させ、就労と事業化を促進する政策のための予算措置、生活保護制度の強化、障害者雇用の促進、保健行政の体制・機能の強化等を要請しました。また、宮崎市に対しては奨学金制度がないことから、独自の制度創設について要請しました。

さらには、新型コロナウイルス感染拡大の長期化に伴い、安易な雇止めが行われることのないよう企業等に周知徹底するとともに、国や県・市からの自粛指示・要請に基づく休業に対しては雇用形態を問わず十分な所得補償を行うよう要請しました。また、離職を余儀なくされた労働者に対して早期の再就職が可能となるよう手厚い就労支援や雇用創出事業を行うこと、被災者生活再建支援制度の抜本的な拡充や、家族介護を行う介護者（ケアラー）が孤立しないよう、経済的な問題や身体的・精神的負担、就労など困りごとに寄り添う相談体制の整備と相談員の確保・育成を図ることなどについても要請を行ってきました。

連合宮崎 2023 新春旗開き

2023年1月5日(木)宮崎観光ホテルにて、連合宮崎2023年新春旗開きを開催し、約90名の関係者が参加しました。

主催者を代表し中川会長が、①平和・連合7つの絆 ②支えあい、助けあう 社会づくりのために③2023春季生活闘争④くらしをまもり未来をつくる取り組み⑤政治の結集⑥組織拡大について、力強く挨拶を行いました。

ご来賓として、宮崎県副知事 永山寛理様、立憲民主党宮崎県総支部連合会代表 渡辺創様、国民民主党宮崎県総支部連合会代表 長友慎治様、宮崎県労働者福祉団体中央会会長 吉岡 英明様、九州労働金庫宮崎県本部 本部長 鬼束 善史様、こくみん共済coop宮崎推進本部 本部長 中原和雄様より祝辞をいただきました。

最後に、高橋副会長による団結ガンパローで閉会となりました。

卯年にあやかり、連合運動がより一層、跳躍することができますよう皆さまのご支援をお願いいたします。



宮崎県 副知事
永山寛理様



主催者代表挨拶
中川会長



国民民主党宮崎県総支部連合会
代表 長友慎治様



立憲民主党宮崎県総支部連合会
代表 渡辺創様



ガンパロー三唱



(連合宮崎) 宮崎市別府町3-9 労働福祉会館4階
0985-26-4649

2023
年度

『連合・愛のカンパ』 募集について

「連合・愛のカンパ」は、人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界」の実現に向け、社会貢献活動の一環として取り組むもので、NGO・NPO団体などの事業・プログラムへの支援、および自然災害などによる被災者に対する救援・支援を目的としています。

宮崎県内では昨年4団体に助成させていただいています。今年も3月31日まで募集を行っています。応募要領は下記のQRコードを検索ください。問い合わせございましたら0985-26-4649までお気軽にご連絡下さい。

【掲載場所：連合ホームページ/主な活動/7つの絆
「連合・愛のカンパ」】



◎2022年度 連合・愛のカンパ 宮崎県内の助成団体

- 宮崎・高校生平和活動支援センター
- NPO法人フードバンク日向
- こども未来応援団体タテヨコナメ
- 宮崎県わけもん防災ネットワーク

2022年度福祉事業団等役職員研修会を開催しました。

2022年11月2日(土)、アートホテル宮崎スカイタワーにおいて、74名の参加のもと開催しました。福祉事業団等役職員研修会については、労働運動・労働者自主福祉運動の理念・歴史を学び、それを担う者として、職場・地域で労働者福祉運動の新たな創造をめざすことを目的に2017年度より開催しています。



中原副会長



吉岡会長



高橋講師



難波講師

本部(本部長)の開会挨拶の後、主催者を代表して吉岡会長が挨拶しました。

講演Iについては、中央労働協顧問・高橋均氏による「労働運動・労働者福祉の理念・歴史」そして、「私たちの役割と任務」をテーマに、「労働者自主福祉運動の歴史を学び今後の活動に活かしてほしい」とする講演をいただきました。

講演IIについては、シンク・オブ・アザース代表・難波裕扶氏による「いまさら聞けないSDGs/私たちができること、役割について」と題して、グループワークをはさみながら、

「SDGsとは何か」ということを知っていただき、できることから取り組みを開始してほしい」とする講演をいただきました。



グループワークの様子



中川副会長

最後に、中川副会長(連合宮崎会長)の閉会あいさつを受け、研修会を終了しました。次年度についても開催目的に沿った研修会を開催していくこととします。

参加者からは、講演Iでは、「労働組合と労金・こくみん共済の関係や、労働者自主福祉運動について再認識できた」「助け合いから始まった相互扶助団体の一員として、つねに組合員に寄り添い、ともに労働組合との関係を再構築・発展させる必要性が大切だと感じた」、講演IIでは、「グループワークによるSDGsの持続可能な17の開発目標のうち、何が大切かをみんなで話し合う時間があり、色々な意見が出されて良かった」「自分の食べている物や着ている物が、どのような過程でできているのか知り、少しでもこれから先の未来につながる行動をしていきたい」「世界はつながっている。起点は私。という言葉が印象に残った。小さなことでも取り組めることは進んで自分からしていこうと思った」とする声をいただきました。

組み合わせで安心！あなたの安全運転を支えます！

マイカー共済

自動車総合補償共済

基本補償

ご自身の補償

(人身傷害補償)

最高 5,000万円

(自動車事故傷害見舞金付)

相手方への賠償

〈対人賠償〉

〈対物賠償〉

無制限 無制限

運転中の

トラブルにも対応！

(24時間×365日)マイカー共済ロードサービス付き

事故受付は休日・夜間問わず 24時間365日対応

示談交渉サービス付き

※対人・対物賠償事故に限ります。

お車の補償(車両損害補償)

一般補償

付随諸費用補償

特約

弁護士費用等補償特約

自転車賠償責任補償特約 など

自賠責共済

自動車損害賠償責任共済

自賠責共済(保険)とは、自賠法(自賠責保険についての法律)によって、道路を走るすべての自動車(二輪車を含む)・原付自転車を使用する際に、**加入が義務付けられている共済(保険)です。**

●お支払いできる事故

被共済自動車を運転中に、他人にけがをさせたり、死亡させたことにより賠償責任を負った場合に共済金を支払います。

●お支払いの内容

死亡	最高 3,000万円
けが	最高 120万円
後遺障害がい	程度に応じて 4,000万円* ~ 75万円

※神経系統・精神・胸部腹部臓器に著しい障がいを残して介護が必要な場合
常時介護のとき:最高4,000万円
随時介護のとき:最高3,000万円
後遺障がいの程度により
第1級:最高3,000万円~第14級:最高75万円

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「リーフレット」「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

マイカー共済・自賠責共済 あわせてのご加入をおすすめします。

《お問い合わせ先》 こくみん共済 coop 宮崎推進本部(宮崎県共済生活協同組合) 〒880-0806 宮崎市広島1-11-17 TEL:0985-24-6262



「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

こくみん共済〈全労済〉
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

たすけあいの輪をむすぶ

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご確認ください。

4522A005

2022 年末講演会を開催しました！



吉岡会長

宮崎中央会では、2022年12月16日（金）、ニューウエルシティ宮崎において、宮崎県勤労者共済会と共催による2022年末講演会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため人数を130名規模に制限し、感染対策を施しての開催となりました。講師については、シンク・オブ・アザーズ代表の「難波 裕扶子氏」をお招きし「未来を創る！未来を守る！～SDGsの本質理解からアクションへ～」と題して、約2時間にわたり講演をいただきました。

講演では、まずSDGsについて、2015年の国連サミットですべての国連加盟国が賛成して決めた地球のありたい未来への行動計画であり、そのために17の持続可能な開発目標があるとして、17の目標一つ一つについて内容の説明が行われました。また、説明の中では、三択形式のクイズが行われ、参加者も真剣に答える場面があり考えさせられる講



難波裕扶子氏

演となりました。最後に難波講師から、子供向けに講演会をする時に、持続不可能な世界を作って申し訳ないと謝っているという言葉や、安易に安いものを買うことが森林伐採や児童労働などその裏側で重大な結果につながることを意識して、自分にできることを考えて実践していただきたいと締めくくられました。

講演後のアンケートでは、講演を称賛、感謝する多くのコメントが寄せられました。

『40歳代：SDGsなんとなく理解した気になっていましたが、今日の話を聞いてとても切迫した問題なのだとわかりました。しかしながら、私たちは電気を使うし、物欲もあり、その裏で自然破壊や貧困が広がっている。私たちは何をすればいいのだろう。その裏側をもっと世の中の人たちが知ることのできるようになってほしいです。SDGsに配慮

されたものを購入することとしたい。専門的な言葉をわかりやすく説明してくださったので、理解しやすかった。』『30歳代：SDGsはここ数年大きく取り上げられていたが、17の目標があることは知っ



講演会の様子①

ていたが、一つ一つがどのような状況で、だからこそ変えていかないといけないことを知らなかった。今回の講演で、これまで当たり前に享受してきたものは、どれだけものを犠牲にし、どれだけ負債を残しているか考える機会となった。世界そして日本がSDGsの取り組みをどれだけ本気、どれだけのことをやろうとしているか知らないことだらけだった。今後、そういったことにアンテナを張りながら、自分も変わっていかねばと考えさせられた。』『60歳以上：SDGs+ESG⇒はじめて系統的に説明いただけてよかった。これからの自分の問題として行動につなげたい。SDGsの本質⇒次世代につなげるために、このままで良いのか考えさせられた。』『50歳代：SDGsの言葉は知っていたが、内容は表面的にしか知らなかった。多くの資料や話を聞いて考えさせられた。今後、自分も学ばないといけないが、まわりにも拡げていけたらと思った。』等々、今後の自らの取り組みや考え方に活かしていきたいとするたくさんの声をいただきました。講演会に参加し、一人ひとりができることから実践していくことが、持続可能な社会へと繋がっていくことだと思います。

宮崎中央会では、今後も福祉事業団体・労働団体および広範な勤労者の労働者福祉の向上を図る観点で、年末講演会を開催していきます。



講演会の様子②

連載コラム

未来余話

ファイナンシャルプランナー
年金アドバイザー
小川 洋一

低金利下で多くの人が変動型の住宅ローンを利用しています。何十年もアフレが続いて、変動型の方が結果的に得であったことは否定できませんが、これからそうであるとは言えません。

固定金利型の住宅ローンだと最後まで毎月の返済額は変わりませんが、変動金利型の住宅ローンでは、金利が上昇すると返済額が増額します。ただし、実際の変動金利型住宅ローン(元利均等返済)には、金利が上昇しても急に返済額が大きく増えないためのセーフティネットが用意されています。

金利が上がったからといって無限に毎月の返済額が増えるわけではありません。このセーフティネットには、「5年ルール」と「125%ルール」というのがあります。適用金利が変わったとしても、5年のあいだは返済額を変えない、金利と返済額の見直しは5年ごとというのが5年ルールです。つまり、5年のあいだローン返済額は一定に保たれ、その後は見直し後の金利が適用となり、新しい金利で返済額が再計算されるというものです。

では、その後6年目からの返済額はどのようなのでしょうか。この時登

場するのが125%ルールです。返済額が増額となった場合、そこに上限を設けて返済額を直近の125%(1.25倍)までにするというルールです。返済額の増加率が125%以内になるように、利息分を増やし元金を差し引いて返済額が一定になるよう金利分を調整します。

ただ、そこで差し引かれた元金は、免除されるわけではなく住宅ローン契約の終盤に一括返済する必要があります。極端に金利が上がった場合、返済額を利息を超える場合があります。返済額を超えてしまった利息のことを未払利息といいます。未払利息が発生すると、返済は利息だけになりローン残高は一向に減りません。未払利息も蓄積され、支払い総額はどんどんふくらんでいきます。借入元金が増えたとく減らず、利息の支払いに追われるというおそろしい状況となります。未払利息が生まれるのは、急激な金利の上昇がある時です。現状、金利は安定しているため未払利息の可能性は低いと言えます。とはいえ、今後の景気動向によっては金利が急上昇しないとも限りません。住宅ローン金利の動向は注視ください。

新年の挨拶

ライフサポートセンター宮崎

あけましておめでとうございます。
昨年は、相談員研修会を初め様々な研修に参加させて頂き、改めて寄り添いの姿勢で話を聴く基本の大切さや連携の必要性を感じました。
当センターでは、地域の身近な相談相手として利用することで、気づきや問題解決のヒント、必要な支援と一緒に考えていきます。
これからも、皆様の暮らし・心の健康にお役に立てるよう精進いたします。
本年もよろしくお願いいたします。

ライフサポートセンター都城

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
新しい年を迎え、改めまして旧年中、沢山の方々にお支え頂き、大過なく歩めてこれました事に、心から感謝申し上げます。
雇用不安や生活不安が蔓延し、心身の不調を訴える人が増える厳しい状況が続きますが、1人で悩まず、ライフサポートセンターを遠慮なくご利用いただければ幸いです。
今年も一層の責任感を胸に業務にあたりたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

ライフサポートセンター延岡

勤労者を取り巻く情勢は年々厳しさの一途を辿っており、寄せられる相談も法的な内容が多いのですが、生活困窮者あるいは弱者への詐欺行為など世相を反映しています。法律家への相談は限られた人生の時間を有効に使う意味で貴重な存在です。ネットでおおよそのことはわかりますが、相談は複雑な関係が絡んでいることが多いため容易な解決は難しいのが実態です。無料相談の役割は重要かつ貴重なものであると思います。

宮崎県商工観光労働部

雇用労働政策課

からのお知らせ

宮崎県とろうきんの提携融資制度 ハッピーライフローンのご案内

県では、中小企業にお勤めの方の生活安定と福祉の向上を目的として、低利率の融資制度を設けています。

県内に1年以上居住し、かつ県内の同一中小企業に1年以上お勤めされている方などの申込条件を満たす方であれば、九州労働金庫を通じてご利用いただけます。くわしくは、九州労働金庫ホームページ、または、九州労働金庫宮崎県内営業店にてご確認ください。

項目	教育資金	生活資金
年率(固定金利)	1.2%	2.0%
限度額	500万円	100万円
返済期間	10年以内(最長4年の元金据置可)	5年以内

※令和4年4月1日より、教育資金の金利が1.3%から1.2%に下がりました。

※融資には九州労働金庫の審査があります。また、別途保証料がかかります。

県内の九州労働金庫各支店の窓口で受け付けています。

- ・ローンセンター宮崎 (0985) 26-9207 【平日】10時～17時 【日曜】10時～17時
【定休】水曜、土曜、祝日
- ・延岡支店(融資部門) (0982) 35-6657 【平日】10時～15時 【定休】土曜、日曜、祝日
- ・都城支店(融資部門) (0986) 23-2257 【平日】10時～15時 【定休】土曜、日曜、祝日



↓パンフレットはこちらから↓



左記以外の支店については、九州労働金庫ホームページ→御覧ください。



お問合せ先